

社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動をご紹介します。

近畿ろうきんは、社会貢献預金(笑顔プラス)の取組みをととして、被災地支援や障がい者支援、子育て支援、女性・マイノリティ支援、環境保全、国際協力などの活動を行う、NPO・市民団体を応援しています。

一般財団法人 あしなが育英会(兵庫地区) 《災害・病気等の遺児支援》

会長 村田 治



災害・病気・自死等で親を亡くした子どもたちを中心に、物心両面で支える活動に取り組んでいます。阪神・淡路大震災をきっかけにスタートした心のケア活動は全国に広がり30年を迎えました。神戸、東京、東北(仙台、石巻、陸前高田)に「レインボーハウス」を建設し、同じような体験をした仲間たちとの出会いと交流の場を提供しています。

神戸では地域の皆さまのご理解とご協力を得て、乗馬や陶芸、音楽鑑賞などの体験プログラムを開催しています。東京では宿泊プログラムに全国の子どもたちが集まり、寝食を共にしながら、自身の経験を振り返り、気持ちに丁寧に触れる時間を過ごします。東北では支援対象を東日本大震災遺児以外にも広げました。

子どもたちは時に困難に直面しながらも、支えられ見守られつつ歩みを重ねています。あしなが育英会は、これからも



彼らが安心して過ごし、「ひとりじゃない」ことを実感できる居場所作りに取り組んでまいります。あたたかなまなざしを向けていただければ嬉しく思います。

NPO法人 CODE海外災害援助市民センター(兵庫地区) 《国際協力・被災地支援》

代表理事 室崎 益輝



私たちCODEは、1995年の阪神・淡路大震災を機に設立されたNGOです。震災の時、世界約70の国と地域からご支援をいただいた恩返しに被災地KOBÉから世界の被災地へ支援を開始しました。これまでアジアや中南米を中心に39の国と地域で、現地の人たちと共に住宅再建や雇用創出、子どもの居場所作りなど73回の復興支援活動を行ってきました。近年は、自然災害だけでなく新型コロナウイルス感染症による困窮者、アフガニスタン紛争・ウクライナ戦争による難民、避難民の支援なども行っています。

2023年のトルコ・シリア地震では、3か所の仮設住宅地に子どもと家族のケアセンターを建設・運営、被害の甚大な地域では、音楽やアートを通じた子どもたちの居場所作りをサポートしました。2025年3月末に発生したミャンマー・タイ地震

では、国軍による空爆や戦闘が行われている中、スタッフを派遣し、現地NGOと共に救援物資の配布なども行いました。

近畿ろうきんさんとは毎年「寺子屋セミナー」を共催し、難民や気候変動、災害などをテーマに市民が共に議論する場を提供しています。



人をむすぶ、こころをつなぐ



笑顔プラス

社会貢献預金(笑顔プラス)は、「預金者の寄付負担(金利引下げ分の利息相当額)」と「ろうきんの拠出金」の合計額を地域のNPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。

※商品の詳細は、当金庫ホームページをご覧ください。また店頭の商品説明書をご用意しています。

近畿ろうきんFacebookページ
<https://www.facebook.com/kinkirokin/>



近畿ろうきんFacebookページでは、社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動状況などを随時公開しています。